

大橋川改修と代替案の比較の検討結果

松江市議会 特別委員会 に説明した代替案



現在の計画（大橋川改修）と、代替案（護岸の嵩上げは行うものの拡幅は行わずその分量を日本海に直接流す案）を比較検討するにあたり、共通する項目は除き、それぞれ単独で必要となる項目について概算金額を算出し、比較しました。



現在の計画（大橋川改修）

宍道湖水位	H.P.+2.5m
大橋川計画流量	1,600m ³ /秒

【比較する項目】現在の計画で不要となる項目

※現在の計画（大橋川改修）のうち、代替案（日本海への放水路）で不要となる箇所の金額を算出したものです。

① 大橋川の一部拡幅+掘削	約 100億円
② 用地・家屋補償（一部拡幅） 約40戸	約 50億円
合計：約150億円	

【共通して必要な項目】

現在の計画（大橋川改修）と、代替案（日本海への放水路）のいずれの場合でも必要となります。

共通項目

大橋川築堤（約120戸移転）
大橋川沿川は地盤の低いところが多く洪水に対して堤防が必要です。

共通項目

大橋・新大橋の架け替え
大橋・新大橋は桁下の高さが不足しているため架け替えが必要です。

【比較する項目】代替案で新たに必要となる項目

① 鉄道橋架け替え 1橋（一畑電鉄）	約 2億円
② 用地・家屋補償（西長江川開削） 約6戸	約 6億円
③ 道路橋架け替え 3橋（国道431号等）	約 3億円
④ 西長江川の開削（延長約1km）	約 28億円
⑤ 宍道湖側の呑口施設	約 18億円
⑥ 直径約9mのトンネル3本（延長約3km/本）	約307億円
⑦ 管理用道路（新設施設）	約 2億円
⑧ 日本海側の潮止め施設+吐口施設	約 35億円
合計：約400億円	

※代替案（日本海への放水路）で新たに必要となる箇所の金額を算出したものです。

【その他の影響】

- A 流域全体の新たな合意
- B 西長江川の雨水排水、農業取水機能の確保
- C 呑口・吐口部で景観阻害の懸念
- D 洪水時の操作
- E 工事終了まで治水安全度が向上しない
- F 放水路トンネル、潮止堰の永年的な維持管理
- G 冬季風浪や河口閉塞等への対策
- H 淡水の排水による環境変化や漁業への影響懸念（環境調査必要）



代替案に対する見解

大橋川の一部拡幅・掘削に代わり日本海へ直接流す代替案は、現計画と比べ事業費がおよそ250億円増加することや、新たに永年的なトンネル放水路等大規模施設の管理などが必要となることから、治水計画上、大橋川改修より優れた計画とは考えられません。